

平成 30 年度 自己点検・自己評価調査結果

I 目的

富良野看護専門学校の理念・教育目的・目標に照らし、自らの教育活動を通して評価し、教育水準の維持・向上及び創意工夫のある教育の追求を図ることを目的とする。

II 対象

- 1 評価対象 教務課 10 名、事務課 1 名の計 11 名
- 2 調査票配布数 11 部、回収 11 部 (100%)、有効回答 11 部 (100%)
- 3 調査時期 平成 31 年 1 月 7 日～18 日 12 日間
- 4 調査内容は別紙のとおり。自記式無記名とし、今年度より新たに「1 当てはまらない」と評価した場合、その理由について記述することとした。

III 結果

調査内容は、9 領域カテゴリーの 42 項目の下位目標 125 項目に基づき調査を行った。3 段階の評価尺度を点数化し「3 よく当てはまる」を 3 点、「2 だいたい当てはまる」を 2 点、「1 当てはまらない」1 点とし項目の平均点を算出した。

1 カテゴリー及び項目平均点 (表 1 参照)

9 つの領域のカテゴリーの平均点は 2.26 であり、昨年と同数であった。9 領域のうち 8 領域が「2」以上であった。「2 以下」の領域は昨年と同様の領域であった。各領域の平均点は昨年と比較すると微妙に変動があった。

2 領域別のカテゴリー (図 1, 2 参照)

領域別の平均点は昨年と比較すると下位項目 42 項目中 22 項目上昇し、17 項目は下降した。以下の 4 項目は昨年に引き続き「2」以下であった。①『VIII 地域社会/国際交流』【2 国際交流のための体制】1.50、②『IX 研究』【教員の研究活動を保障】1.60、③『IX 研究』【教員の研究活動体制】1.70、『IX 研究』【教員相互で支援し合う文化的素地】1.60 であった。昨年、「2」以下であった①『IV 教授・学習・評価過程』【7 教員の教育・研究活動の充実】1.88 から 2.00 へ、②『VII 卒業・就業・進学』【2 卒業時の看護実践能力と卒業後活動】1.85 から 2.05 へ上昇した。学校運営目標に掲げ、卒業生の動向調査実施や個々の教員の教育・研究活動に取り組んだことが上昇したと要因と言える。次年度は調査項目の見直しを実施する、「2」以下の項目の改善策を立案する、ことを目標化し教育環境改善及び看護教育の質向上を目指したい。

平成 30 年度 自己点検・自己評価調査結果

表 1

カテゴリー	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
I 教育理念・教育目的	2.44	2.48	2.18	1.90	1.80
II 教育目標	2.50	2.51	2.18	1.90	1.90
III 教育課程経営	2.29	2.30	2.07	1.80	1.80
IV 教授・学習・評価過程	2.38	2.34	2.12	1.80	1.90
V 経営・管理過程	2.39	2.35	2.08	1.80	1.70
VI 入学	2.45	2.54	2.08	2.00	1.40
VII 卒業・就業・進学	2.14	1.98	1.72	1.60	1.40
VIII 地域社会/国際交流	2.14	2.04	1.94	1.70	1.60
IX 研究	1.63	1.83	1.50	1.20	1.10
評定平均	2.26	2.26	1.99	1.74	1.62

図 1

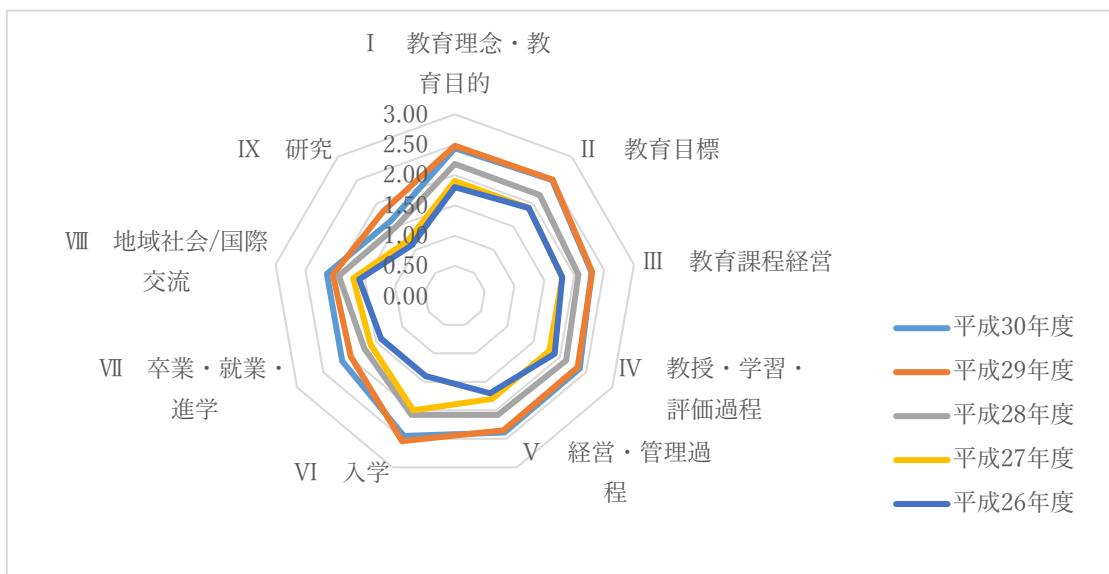


図 2

